科目名 Subject	経営 Business Administration		教員名	山口　信和	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	○	△	○
科目の概要	「経営」は企業および各種組織が顧客との相互理解を通じて、どのように現代社会の中で仕事をしてゆけばよいかを学ぶ学問です。「経営」の対象となるのは企業だけでなく、教育、医療、官庁、その他の一般的に組織と呼ばれるものすべてが含まれ、「顧客」には一般生活者、取引先、地域住民などが含まれています。授業で取り上げる「経営」は、各種組織の一つとして「美容院経営」に焦点を合わせ、経営者の立場、従業員の立場、そして顧客からの立場に立った経営のあり方を講義します。教材として日本理容美容教育センター刊行の「運営管理」を使用し、毎回、要旨をまとめたブリテンを配布します。ブリテン内容を読み合わせ、用語や関連事項の補足説明をします。美容師として顧客に接しコミュニケーションを円滑にするためには、最近の話題に精通しておく必要があります。その為にテレビ教養番組から録画したビデオをケーススタディとして使用します。毎回、ビデオ鑑賞レポートとして回収します。				
授業の目標	「経営」に関する全般的な知識を習得すると共に、美容師国家試験出題範囲の問いに対して正確に解答することができます。				
時間外学習 （予習・復習）	次回の授業内容について、日本理容美容教育センター刊行「運営管理」を事前に目を通し予習しておき、問題点や不明点を明らかにして授業に臨むこと。必要予習時間は約60分程度。				
教科書・教材	教科書	日本理容美容教育センター刊行の「運営管理」			
	教材	配布プリント、録画ビデオ			
	使用設備・備品	プロジェクター			
	参考文献				
評価方法	授業態度（40%）、レポート提出（40%）、期末試験（20%）などから総合判断をします。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
履修上の注意	出席状況、受講態度を重視します。特に、私語など他人に迷惑をかける行為は厳禁します。必要に応じて退席を要求します。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし。			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	経営者の視点から、経営とは・経営者とはなにかを学ぶ。	経営が必要とされる理由がわかる。経営は継続が難しい理由がわかる。	配布プリントを復習し、次回授業（第一編　第一章　経営とは、経営者とは)のページ12～21を予習する。
第２回	経営者の視点から、経営計画、経営戦略とはなにかを学ぶ。	経営とは何かがわかる。経営資源と経営計画の必要性がわかる。経営戦略とはどのようなものかがわかる。	配布プリントを復習し、次回授業（第一編　第二章　理容業、美容業の経営について）のページ22-27を予習する。
第３回	経営者の視点から、理容業・美容業の経営について学ぶ。	経営戦略が目指すモノがわかり、業界の概要、競争の変化がわかる。	配布プリントを復習し、次回授業（第一編　第二章　理容業・美容業の経営について）のページ28～33を予習する。
第４回	経営者の視点から、理容業・美容業の経営において顧客が何を求めているかを学ぶ。	サービスとしての理容・美容業とはなにか、そして顧客が求めるものがわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第一編　第三章　資金の管理）のページ34～43を予習する。
第５回	経営者の視点から、資金の管理を学ぶ。	収支と損益の違いを学び、会計の考え方がわかる。コスト管理とはなにか、税金についてわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第二編　第一章　人という資源）のページ44～51を予習する。
第６回	従業員としての視点から、人という資源を学ぶ。	人という資源がわかり、人の能力を高め、やる気にさせる方法がわかる。給与とはなにかがわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第二編　第二章　健康・安全な職場環境の実現）のページ52～59を予習する。
第７回	従業員としての視点から、健康・安全な職場環境の実現とはなにかを学ぶ。	労働者の権利、健康管理の基礎がわかる。理容業・美容業の仕事と健康がわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第二編　第二章　健康・安全な職場環境の実現）のページ60～69を予習する。
第８回	従業員としての視点から、健康・安全な職場環境の実現とはなにかを学ぶ。	理容業・美容業に特徴的な健康問題がわかる。社会人としての責任、従業員としての責任がわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第二編　第三章　従業員としての視点から）のページ70～83を予習する。
第９回	従業員としての視点から、社会人としての責任を学ぶ。	社会保険、キャリアプランの重要性がわかる。仕事をするうえで考えるべきことはなにかがわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第三編　第一章　サービス・デザイン）のページ84～91を予習する。
第１０回	顧客のためにとは何か、サービス・デザインを学ぶ。	顧客が求める価値、価値の実態がわかる。顧客満足の実現のためのシステムが大切だとわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第三編　第一章　サービス・デザイン）のページ92～99を予習する。
第１１回	顧客のためとはなにかを学ぶ。マーケティングを学ぶ。	価値の多様性、サービスの範囲がわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第三編　第二章　マーケティング）のページ100～109を予習する。
第１２回	顧客のためにとは何か、マーケティング・ミックスの重要性を学ぶ。	マーケティング・ミックスの短期的、並びに長期的要因についてわかる。	配布プリントを復習し、次回授業（第三編　第三章　サービスにおける人の役割）のページ110～117を予習する。
第１３回	顧客のためとは何か、サービスにおける人の役割を学ぶ。	サービスの範囲をシステム化にすることがわかる。よい接客とはなにかがわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第三編　第三章　サービスにおける人の役割）のページ118～125を予習する。
第１４回	顧客のためとは何か、接客の実践を通して学ぶ。	接客の実践についてわかる。	配布プリントを復習し、次回授業(第三編　第三章　サービスにおける人の役割）のページ126～131を予習する。
第１５回	顧客のためとは何か、サービスにおける人の役割を学ぶ。	接客におけるトラブルと対応、そして発生が予想される問題は何かがわかる。問題を深刻化させない対策がわかる。	配布プリントを復習する。